

大門企業団地協同組合

企業団地のBCP策定と組合員に対する支援活動

住所	〒939-0418 富山県射水市布目沢629番地		
電話番号	0766-53-1525	URL	http://www.daimon-kigiyo.jp/
設立	昭和58年4月	出資金	33,500千円
主な業種	異業種(製造業、建設業、運送業)	組合員	21人

■背景と目的

東日本大震災をきっかけにBCPの必要性への認識が全国的に高まってきた。そのため、当組合でも自ら学び組合員へ啓蒙する必要があると感じ始めていた。そこで、緊急事態の発生時においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら組合員が事業を継続するための支援を目的としたBCP策定を通じて様々な取組みを行うこととした。

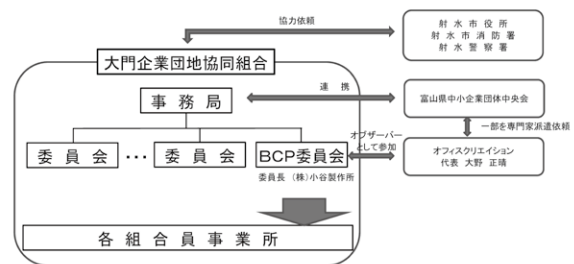
■事業・活動の内容と手法

平成24年10月に中央会の支援を受け「BCP事業継続計画作成セミナー(基礎理論コース及び自社版作成コース)」を開催。組合事務局並びに組合員が受講し知識を高め、専門家の指導を通じて、組合のほか一部の組合員企業の事業継続計画を完成させた。

また、中央会支援終了後には、「BCP委員会」を新たに創設し、事業継続計画等に関する組合員の意識調査(アンケート調査)を行って現状把握と今後の活動内容の検討を行ってきた。具体的活動内容としては、防火水槽等の場所確認、組合員緊急連絡網整備、備蓄品のリスト化及び整備等のほか、AED設置と講習会開催、集団インフルエンザ予防接種実施、合同消火訓練等多岐にわたる。

これらは、組合事務局とBCP委員会が主軸となって活動を行い、富山県中央会と連携を取りつつ、専門家からの助言指導を受けながら進めた。また、AED講習会と消火訓練は射水市消防署の協力もいただき実施した。

地域住民や町内会との連携も必要な課題であると認識しており、今後はその実現に向けて取り組んでいく予定である。



▲本事業の推進体制図

■成果

組合及び組合員の事業継続に対する意識が高まり、中央会支援事業終了後に設立されたBCP委員会の功績も大きい。パンデミック対策としての集団予防接種は年々人数が増えており、28年度は305名が接種を受けた。5年以内に全組合員従業員約900名のうち50%とした目標も達成可能な状況。AED設置数も当初の2社から7社に増加した。



▲AED講習会受講風景



▲インフルエンザ予防接種風景

事業・活動推進のキーファクター

セミナー等の勉強会を通じた啓蒙と委員会の創設によって推進体制が整ったこと、事務局等関係者の強力なリーダーシップによる事業推進などが挙げられる。